

## 参加報告書 (インドネシア・ブディルフル大学)

### ① 本プログラム参加のきっかけ・目的について (200 字以上)

私は夏休みに海外で何か経験をしたいと考えており明治大学の留学プログラムを調べていたところ、本プログラムが目にとまった。このプログラムを魅力的に感じた理由としては、他のプログラムと比較して安価であることや単なる語学留学ではなく、現地の大学生と協力して様々な活動を行えることだ。それに加えて、過去にタイに旅行をした経験から東南アジアに興味を持ち、インドネシアにも興味を持ったことが参加のきっかけとして挙げられる。目的の一つとしては今まで習った英語が海外でどれだけ通用するのか確かめることが私の中にあった。

### ② プログラム内容について (各項目 200 字以上)

#### 1. ボランティア活動・ワークショップについて

主な活動として路上の人に自分たちで作ったお弁当を提供するものや、ワークショップ、縁日の開催があった。お弁当の提供では現地の大学生と協力してインドネシア料理を作り、そのあと大学の近くの路上で道行く人たちにそのお弁当を配った。ワークショップでは今年は書道、たこ焼き作り、紙人形制作、風鈴制作を現地の高校生に実際に行ってもらい、日本文化を伝えた。縁日ではワークショップに参加してくれた高校生を招き、日本のお祭りで実際にあるような屋台をいくつか開いて、日本文化を感じてもらうのと同時に楽しんでもらった。

#### 2. 授業 (インドネシアの歴史や文化、インドネシア語) について

授業の種類として、インドネシア語、ダンス、歌の3つがあった。インドネシア語の授業では日常で使える簡単な質問や単語を教わった。自分たちで実際にインドネシア語を使いながら学んでいくスタイルだったので、退屈することなく学べた。ダンスと歌の授業では縁日の日に来訪者に向けてステージ上でパフォーマンスを披露するためにインドネシアのダンスと歌を教わった。どちらもパフォーマンスできる状態になるまである程度の時間を費やしたが、仲間と楽しみながら取り組むことができた。

#### 3. フィールドトリップ (バンドンツアー) について

バンドンツアーは一泊 2 日の小旅行のようなものだった。1 日目は伝統的な劇や踊りや演奏のパフォーマンスを鑑賞した。ただ見るだけでなく、実際に同じ観客の人と伝統的な楽器のセッションをしたり、踊りに加わったりもした。夕飯は雰囲気の良いお店に連れて行ってもらい、みんなで食事を楽しんだ。2 日目は宿泊したホテル周辺を散歩した後に綺麗で大きな庭を備えた開放感のあるお店で朝食をいただいた。とても居心地の良い場所で優雅な朝を過ごせた。昼食には伝統的なお店に行き、手で食事をする貴重な経験をした。

### ③ 本プログラムへの参加によって得たこと、および感想 (200 字以上)

今回のプログラムに参加することで様々なことを学べた。まず英語のリスニング能力とスピーキング能力は多少向上したと感じる。現地の大学生と英語で会話することで新しい単語を知れたし、わからない言葉はその場で調べて使う機会が何度かあったからだ。そして現地の大学生と活動を通して絆を深められたことで、海外でも友達を作って活動することがそれほど難しいことではないとわかり、自信につながった。活動をする際に積極的に

意見を言わないとならない場面がいくつかあり、それを乗り越えたことで積極性も身についたと感じる。

#### ④ 現地での生活等について（今後参加する学生へのアドバイス含む）

##### 1. 滞在先の治安・キャンパス・施設について

治安はそこまで悪くないと感じたが、日本と違いバイクや車優先社会なので道路に出るときは気を付ける必要がある。寮での生活は比較的快適であるが、全室のシャワーを一斉に使うことができず順番を決める必要があった。水質が悪いため、水道水を口に含まないことを徹底する必要があった。

##### 2. 食事について

インドネシア滞在中に食べた食事はどれも自分の口に合っていておいしかった。辛さの調節も食べ物を注文する際に可能であるし、現地の大学生にどれが辛い料理か聞いて回避することもできる。

##### 3. 交通手段について

活動がある日は寮から大学までスクールバスでの移動になる。休日は Grab アプリを使ってタクシーを手配して目的地へ向かった。行先の住所を間違えると厄介なことになるので現地の大学生に確認を取ったほうがいい。帰る際も寮の住所の確認を怠らないことが重要。いっそのこと手配を現地の大学生に頼るのも一つの手だと感じる。

##### 4. 通信環境について

私は寮の中で二階の部屋を使っていたがそこまで WiFi が弱いと感じたことはなかった。時々弱いと感じたこともあったが、携帯を再起動するなどして工夫すれば問題ないと思う。Kkday アプリから Esim を購入したがなんの不便もなく使えた。自分は念のため 30GB のプランを契約したが実際に使ったのは 10GB 未満であったと思う。しかし WiFi が来年も不便なく使えるとは限らないので念のため心配な人は 20GB ほどの契約をしてもいいと思う。

##### 5. 買い物事情について

活動の終わりにショッピングモールやスーパーによらせてもらえることがあるのに加え、寮から徒歩圏内にスーパーがあるのでそこまで心配する必要はない。Shopee を使ってネットで買ったものを寮に届けてもらっている人もいた。

##### 6. 医療事情について

私は期間中に細菌感染が原因の急性咽頭炎にかかった。一般的なのど風邪であり熱もそこまでなかった。体調の悪さに気づいてすぐに担当の現地の先生に連絡して指示を仰いだ。日本語対応の病院に連れてってもらい処方された薬を飲んだら回復した。海外保険が適用されたのでこちらから支払う金額は一切なかった。あちらの薬は日本よりも飲みやすく、なんなら美味しかったのは印象的だった。

##### 7. その他、現地での生活等に関して、参考となることがあれば教えてください

—

以上